

REBORN OLD

リボン・オールド

あの'54ストラトのスプリングーサウンドが「トーカイ'54ストラト」となって帰ってきた。東海楽器

TOKAI ELECTRIC GUITAR PROJECT TEAM

リボン・オールドとは、あのレスポールのオリジナルモデルがトーカイエレクトリックギタープロジェクトチームの手によって、よみがえった事を言うのだ。

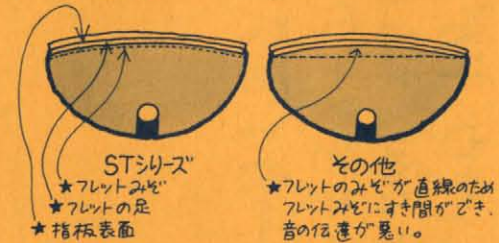
●ポリシー1 ボディ

STシリーズの本加工には今まで考えられなかったコンピューターを導入。立体をくまなく加工できる「3次元ルーター」の機械カレク

ラフマンの高い技術力がアラスカでバググンの精度を誇るボディが完成した。だからストラトのネックであるとしていたネック取付部が「すばらしい仕上げ」なのだ。手にとって、他社のものとは比較してほしいのだ。違いがわかるキミ……それだけギタープレイヤーだ。「もちろん、木材料はセン単板」ももちろん、よく見て欲しいのだが「全体のボディシェイプが現在のストラトと少し違っている。身体にフィットする部分とアームレストのカッティングが」モリスゴク、ダイタンになっという。他社の「オールドコピー」とくらべて、その辺が違っていたとすれば、そのギターは「オールドコピー」ではないのだから、よく注意してほしい。ギターを見かける眼が「こういう時、太刀になるのだ」。



※のど、もちろんネックの剛性、音の伝導具合が一段と向上した事はいうまでもない。そのすばらしさでキミはシビレてしまおう。



●ポリシー3 ペグII

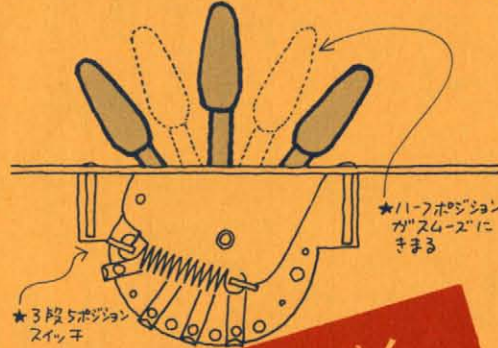
オールドストラトを完璧にコピーするポリシーは「ペグ」にもつらぬかれ、ここに結果出した!! '54年オールドモデルには「クルーソンデラックス」が「マウント」されていた。だが、「国産のオールド」コピーには、そのほとんどが「オリジナル」とはな



※「ペグ」が使われているのだ。トーカイのプロジェクトチームは本家のクルーソンをさらに改良したペグを開発することに成功。形がまさにクルーソンデラックス※

●ポリシー5 トーン切換えスイッチ

オールドストラトは「ハーフトーン」が出なければ「ナンセンス!!」そのため「国産コピー」は5段階スイッチを開発したのであるが「ちょっとどうかと思うのだ」。そこで「STシリーズ」には「これまた新開発の3段階ポジションスイッチ」を採用、5段階のように「ガクガクする感じがなくスムーズな切換え」と同時に「ハーフポジション」で「バッチリ」まる新設計。



※種類のPUを新開発したのだ。

★Aタイプ……'54ストラトと同じコイル材料を採用した「P.U.」オールドなサウンドを100%発揮する「秘密兵器」ともいおうが。

★Bタイプ……'54ストラトのオールドなサウンドをローコストで実現。とはいっても「国産他社の最高級クワース」かわけられない。

（いずれもアルニコ（アルミ、ニッケル、コバルトの合金）ポルピース。パラフィン含浸処理が「ほどこしてある」ので「ノイズ」は最小限!! とにかく「ソフ」で「アタッキー」なサウンドの表現に「STシリーズ」の「P.U.」が「バググン」の「実力」を「発揮」する。

●ポリシー8 ピックガード

'54ストラトのオールドサウンドはこのピックガードにも大きく影響をうけている。現在のストラトは「3フライ」11点止め「ガッチリ」ボディに密着しているため「オールド」特有の「微妙なサウンド」が「こめ」られているのだ。'54ストラトは「1フライ」8点止め。このため「ボディ」との「密着」が「完全」ではないが「逆に」言うと、この「ピックガード」の「微妙な」振動が「ない」と、あの「オールド」サウンドは「帰って」こないのだ。STシリーズは「もちろん」1フライ8点止め。PU止めビスが「パネルデザイン」を「ピシッ」と「決める」。



トーカイ'54ストラトの製作ポリシーはこんなにスゴイ
徹底と超越の中身